



羅針盤

2014年度 第20号
都立豊多摩高等学校
進路図書部
2015.3.19



春のオープンキャンパスを実施する大学をいくつか紹介します。休みの日にせっかく出かけるのであれば、ついでに周りを少々散策するのも気分が良いのではないのでしょうか？春らしい観光スポットをあわせて載せてみました。楽しく行ってきてください。

オープンキャンパス

上智大学(四谷キャンパス)

3月27日(金) 13:00~17:30

「国際協力、国際機関への道」をテーマに、大学が提供するプログラムの紹介や体験授業、ゲストスピーカーによる講演、前駐米大使の藤崎教授と直接対話できるプログラムなど。事前申込み制。

学部別説明会や学科相談などは無い。

国際基督教大学(ICU)

3月21日(土・祝) 10:00~16:00

モデル授業、奨学金・学生寮ガイダンス、「ICUがよくわかる」ガイダンス、トークライブ、入試説明・英語問題リスニング体験、個別相談コーナー、キャンパスツアー ほか。

事前エントリーあり。

東洋大学 白山キャンパス

3月27日(金) 10:00~

「“学び”LIVE 授業体験」は、幅広い学びを体験する入試イベントで、1日に約100講座を一挙公開。11学部44学科から興味のある授業を体験できます。

この他にも、

専修大学(生田キャンパス) 3月21日(土)10:00~15:00 : 近くに生田緑地

東海大学(高輪キャンパス) 3月15日(日)10:00~15:00 : 近くに泉岳寺

日本女子大学(目白キャンパス) 3月28日(土)10:00~14:30 : 近くに椿山荘

津田塾大学(小平キャンパス) 3月27日(金)10:30~14:30 : 近くに平櫛田中彫刻美術館

東京家政大学(板橋キャンパス) 3月24日(火)10:00~14:00 : 近くに飛鳥山公園

などが発表されています。自分で調べてみてください。

大学の近くの観光スポット

千鳥ヶ淵緑道



皇居西側の千鳥ヶ淵に沿う全長約700mの遊歩道。約260本の桜は遊歩道を歩く人の頭上に咲き、まるで桜のトンネルの中を歩いているような体験ができる、全国的にも有名な桜の名所。(千代田区観光協会HP)

野川公園



前身は、国際基督教大学のゴルフ場。豊かな自然が残されている野川の北側、広々とした芝生広場やアスレチックのある南側。のびのびした気分を味わえる。(東京都公園協会HP)

根津神社



5代将軍綱吉の兄である綱重の屋敷で、6代将軍綱豊(家宣)が生まれた地である。見事な姿を残す建築は、本殿、拝殿、幣殿、唐門、楼門、透塀が国の重要文化財に指定されている。(文京区HP)



「羅針盤」というタイトルで、これまで皆さんに進路情報を提供してきましたが、あらためて「羅針盤」そのものについて調べてみようと思いました。『羅針盤の謎』(アミール・D・アクゼル著 2004年アーティストハウス発行)という面白そうな本があったので早速読んでみました。以下の『 』内の文章はこの本からの引用です。



羅針盤を最初に発明したのは中国人と考えられています。

『中国では遠い昔から天然磁石とその不思議な性質がよく知られていた。地中海周辺でも天然磁石が金属を引き付けることは知られていたが、中国では一定の方向を指し示す特性についても理解されていた。』

『古代中国の文献(紀元1世紀かそれ以前)に、不思議な性質を持つ杓(スプーン)のことが書かれている。自然に南を指すというのだ。南を指す杓は北斗七星を模して天然磁石で作られたもので、実際に南を指し示して磁気コンパスの働きをした。』

古代中国で発明された磁気コンパスには、スプーン型の他に魚の形や海亀の形をしたものなど色々あったようで、なかなか興味をそそられます。しかし中国ではこの発明が直ちに旅の進路を指す物として活用されることはなく、主に風水の占いの道具として発達したようです。

これが長い時を経てヨーロッパに伝わり、重要な役割を果たすようになるのは12世紀のことです。イタリアの都市国家アマルフィは海運業によって急速に台頭し、磁気コンパスを航海に便利な道具として発展させました。しかし、その勢力はさらなる新興国にとってかわられます。

『強大な艦隊を保有するヴェネツィアが、改良された磁気コンパスを世界で初めて存分に活用し、地中海における航海術を新たな段階へと引き上げた。』

さらに200年ほど経つと、「大航海時代」が始まります。1519年に5隻の船団を率いてスペインを旅立ったマゼランが、『磁気コンパスと天体観測を用いて巧みに方向転換しつつ航海した事実は、優秀な船乗りなら正確な経度がわからなくても沖合の長い距離を移動し、船のおよその位置を把握できることを証明している。』そして彼は大西洋と太平洋を横断し帰還します。

『3年前にスペインを出港した時には200人の大所帯だったが戻ってこられたのは飢えて衰弱しきった15人だけだった。だが、彼らは人類最初の世界周航を達成したのである。』

人類の長い歴史の中での、羅針盤に関わる話のごく一部を紹介しました。羅針盤が占いの道具から世界一周の成功の鍵となるまでには、想像を絶する苦労と時間が費やされたのでしょうか。優れたツールや豊かな情報を手にしていても、それを十分に活用できるかどうかは使い手の努力次第であることを歴史が教えてくれている気がします。皆さんが人生の行路を進んでいくときに、その道筋を探る頼りとなる「羅針盤」とはいったいどんなものなのでしょうか？

羅針盤に関わる、こんな名言もありました。

As the sailor has a port toward which he is sailing in his mind, you must have a clear mental picture continually in your mind. You must keep your face toward it all the time. You must no more lose sight of it than the steerman loses sight of his compass.

「船乗りが航海の間いつも目的地の港のことを考えているように、明確なイメージをたえず心に浮かべて見つめてください。いつも顔をそちらに向けていなさい。舵手が羅針盤を決して見失うことがないように、あなたもそれを見失ってははいけません。」 ウォレス・D・ワトルズ
皆さんも、自分の進路をしっかりと見据えて、これからも元気よく前進して行ってください。

以上

「羅針盤」のバックナンバーは豊多摩高校HPにてカラーでご覧頂けます。